

YELL ~応援される人になろう~

明石市立衣川中学校

第1学年

学年通信 第26号

2020. 9. 29

体育大会を終えて その2

私は、この体育大会で優勝はできなかったけど、全力で取り組むことができたと思います。理由は、最初から優勝はできないかなと、うすうす気づいていたけど、まだ決まったわけではないと思って全力で応援もできたし、全力で楽しめたので負けて悔しい気持ちがすぐに消えて、笑顔で終われました。今年は例年と違ってリレーと徒競走しかなかったけど、とても楽しかったです。MVPはみんなだけど、特に保体委員の二人が一番頑張ってくれたと思います。私たちのクラスは、保体委員二人でどうしたら勝てるか一生懸命考えてくれたので、1位や2位をとることができました。リレーだけだったら勝っていたので、徒競走以外の種目があれば優勝できたかなと思いました。

3年生にとっては中学校最後の年なのに、例年と違い、先輩たちのダンスを見たかったのにショックでした。

私は、この体育大会で仲間と協力し、心を一つにすることを学びました。徒競走は個人で戦うけど、周りは全力で応援して、リレーはバトンを落とさずにつなげるのが大事なので、走る人も、応援する人も全力で取り組んだから楽しくできたんだと思います。

3年生や保体委員のがんばりなど、周囲で活躍している人のことを考えられてすばらしい。

私が体育大会で一番がんばったのは、女子リレーのアンカーです。自分で言うのもあれやけど、足が痛かったのに最後まで走れた自分におどろいている。まあ、最後にゴールしたことには変わりがないからすごいことでもないけど。

次にはがんばったのは応援です。自分が出ていない時でも全力で大きな声を出してみんなの事を応援できたと思う。この体育大会を通して、みんなとの団結力がすごく高まったと思う。この高まった団結力で文化祭も乗り切りたい。

最後に、私には一番感謝しないといけない人がいる。それは保体委員の二人。徒競走やリレーの順番を考えてくれたおかげで4人も決勝に残れたのだと思う。もちろん足が速い4人のおかげでもあるけど、一番がんばってくれたのは保体委員の二人だから感謝しないといけないと思う。

文化祭も体育大会みたいにみんなで楽しんで一日をすごせたらいいな～って思った。そのためには文化祭の練習を沢山したい。

まさに、学年目標「あなたにエール わたしにエール」を体感できた体育大会になりましたね。

保体委員として、リレーの走順を決めたり、大変なこともあったけど、やってよかったなと思っています。今年の体育大会のスローガンは「力戦奮闘～力と勇気の青春バトル～」でした。私はこのスローガンのようにがんばれたんじゃないかなと思います。理由は、一人ひとりがしんけんに必死に取り組めていたと感じたからです。よりクラスの間など仲良くなれた気がしたし、協力することの大切さを学べたと思います。今年は優勝できなかったけど、みんなで協力して仲良く楽しくできたので、別に優勝じゃなくていいです！！でも来年は優勝したいです。中学校はじめての体育大会で、はじめてすることが多かったけど、どれも良かったです。クラブ行進で、久しぶりに3年生の先輩が活躍しているところを見れて少しうれしかったし、カッコよかったです。自分も1年後、2年後、後輩にこう思われたいです。体育大会があと2回しかない考えると悲しくなります。次の体育大会までにいっぱい成長しときたいです。体育大会、楽しかったです。

保体委員としての達成感が伝わります。先輩になったときの自分の姿もイメージできていますね。

